

ワキ汗がひどく夏を過ごすのがゆううつです  
重症の多汗症には「A型ボツリヌス毒素」治療を  
立川皮膚科クリニック  
www.tachikawa-derma.com

## 重度原発性腋窩多汗症の症状



ワキからの発汗量が非常に多く、悩んでいる人がいます。この症状について、立川皮膚科クリニックの伊東秀記先生に聞きました。

「病気など特別な原因がないのにワキに多量の汗をかく症状を『重度原発性腋窩(えきか)多汗症』といいます。脇の下には汗腺(エクリン汗腺・アポクリン汗腺)が多く存在しますが、体温調節を担うエクリン汗腺からの汗が必要以上に多いことが原因です」

「症状は？」

「気温の上昇と緊張やストレスの相互作用で大量の汗をかき、人目を気にすることでさらに汗をかきます。Tシャツがびしょよになる、洋服の汗じみがひどく外出がゆううつになる、営業や接客の仕事に集中できなくなるなど、日常生活に支障があれば治療開始を」

「治療法は？」

「A型ボツリヌス毒素注射」による治療法があります。ボツリヌス菌がつくる天然のたんぱく質を有効成分とするA型ボツリヌス毒素をワキの下に直接注射して、交感神経から汗腺への刺激の伝達をブロック。汗腺の働きを弛緩させる治療法です。年に1回〜2回、繰り返し注射が必要です。毎年夏になると症状がひどくなる人は皮膚科の医師に相談を」

院長：伊東秀記  
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業、東京慈恵会医科大学皮膚科非常勤講師



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~ 13:30	○	○	○	○	12:30まで 受け付け	○
15:00~ 19:30	○	○	○	○	18:30まで 受け付け	17:30まで 受け付け

問い合わせ  
☎042-843-1377  
JR「立川」駅南口徒歩2分

2015年7月18日付 「リビング多摩」に掲載されました